

Local Area News

求評会にて「館林紬」 の魅力をPR

館林織物連合(協)

11月28日、館林市・三の丸芸術ホールにおいて、「館林織物新作求評会」を開催した。



展示された館林紬の品々
この他にも多くの品が展示された

「館林紬」は、赤や紺を主体とした色合い豊かな縞模様と木綿織りによる独特の風合いが特徴となっており、館林市の織物文化を象徴する特産品。

この求評会は、主に卸売業者を対象に昭和30年頃より新作を展示する行事として始まった。現在では、一般の人にも「館林紬」の良さを知ってもらうことを目的に毎年開催しており、組合の恒例行事となっている。

今回の求評会も、貴重な「館林紬」の織物に触れることができる機会とあつて、10時のオープン前から参加者が列をなして待っているほど好評を博した。



館林紬を使った小物作り体験

また、毎年楽しみにしている参加者が多い「館林紬」を使った小

物づくり体験ができる講習会では、各々が思い思いの作品作りに熱心に取り組んでいた。

視察研修会を実施

ぐんまエコアクション21倶楽部

12月6日、埼玉県入間郡三芳町・石坂産業株式会社、春日部市・首都圏外郭放水路を視察した。

石坂産業(株)は、持続可能な社会の実現を目指し、自然と共生する環境負荷極小プラントでの産業廃棄物中間処理、従業員の意識改革、地域との連携等で成功している企業で、多くのメディアにも取り上げられている。



石坂産業㈱担当者の
説明を熱心に聴く参加者

始めに同社担当者より、事業内容、太陽光や雨水を利用可能な中

間処理全天候型プラント等について説明を受け、その後プラントを見学。昼食後、同社が環境学習の場として運営している「三富(さんとめ)今昔村」を散策した。

参加者からは、環境や地域社会への貢献に取り組む同社の姿勢、社員教育の徹底、プラント内の整理整頓が行き届いている点などについて感嘆の声が寄せられた。

次に首都圏外郭放水路を訪問。洪水を防ぐために建設された地底50mを流れる世界最大級の地下放水路で、甚大な被害をもたらした昨年の台風19号での河川氾濫対策にも大いに貢献。洪水を取り入れる「立坑(巨大竖穴)」や水の勢いを弱めスムーズな流れを確保する「調圧水槽(地下神殿)」などの設備がある。



「地下神殿」内を見学

LAW

ビジネスマッチング交流会

ものづくり補助金
フォローアップ事業

12月10日、前橋市・群馬県公社
総合ビルにおいて、「ビジネスマッ
チング交流会」を開催した。

この交流会は、平成24～29年度
補正ものづくり補助金の実施事業
者に対し、独立行政法人中小企業
基盤整備機構の協力を得て、新た
な商談機会の提供を行うもの。新
たな受発注ニーズやビジネスパー
トナーの発見につなげることで、
ものづくり補助金事業実施事業者
における販路拡大・開拓の一助と
なることを目的としている。



自社の技術力をPR



マッチング会場の様子

交流会には、発注側となる企業
9社と受注側企業55社が参加。事
前に中小機構が運営するビジネス
マッチングサイト「ジエグテック」
を活用。発注ニーズを公開し、幅
広くマッチングするとともに、発
注側のニーズと受注側の提案内容
を整理し、商談の精度を高めた。

マッチング会場に設けた10の
ブースでは、発注側企業、受注側
企業ともに、新たな取引先の開拓
や共同研究の相手先の探索につな
げようと、熱心な意見交換が行わ
れた。

経営者情報交換会・ 交流懇親会

太田機械金属工業(協)

12月16日、太田市・太田グラン
ドホテルにおいて、「経営者情報交
換会・交流懇親会」を開催した。



経営者情報交換会

経営者情報交換会では、始めに
坂本正堂理事長が挨拶。株式会社
商工組合中央金庫前橋支店・佐藤
裕喜支店長より「県内の金融経済
状況の現状について」、関東経済

産業局適正取引推進課・山川弘二
課長からは、多くの組合員におい
て取引先との関係で大きな課題と
なっている「型取引の適正化・中
小企業しわ寄せ防止について」講
演が行われた。

また、講演の他、太田商工会議
所より会議所の施策説明、組合員
である富士ゴム工業株式会社、株
式会社アイリス、株式会社木村鋳
造所群馬工場の3社より、「組合各
業界の現状と今後の見通しについ
て」をテーマに、それぞれの業界
や各社の業況、現在の自社の事業
内容等について発表があった。

続いて別室会場にて行われた交
流懇親会は、大江通浩副理事長の
挨拶にて開会。終始和やかな雰囲気
で交流懇親が深められた。



交流懇親会の様子